

事務事業名	公共下水道汚水施設管理事業	所属部	上下水道部	所属課	下水道課
政策名	総合計画体系 〈Ⅱ〉環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり〈定住環境〉	所属G	維持管理グループ	課長名	藤原重信
施策名		〈11〉下水道の整備	担当者名	神庭和幸	電話番号 (内線) 0854-42-3471 4610
基本事業名	〈029〉下水道施設の維持管理	予算科目	会計 2:5 2:5 1:0 0:5 0:1 款 項 目 中事業	公共下水道汚水施設管理事業	

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)	公共下水道施設の維持管理(業務委託及び業務監理処理施設の電気料、水道料、電話料、保険料の支払い処理施設の故障対応及び修繕)。	雲南市合併により上下水道部下水道課が事業を引き継いだものである

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(概要)	業務委託費;63,230千円 光熱水費;17,940千円 通信費;242千円 修繕費;15,383千円 その他経費;2,161千円	事業費	財源内訳	国庫支出金 県支出金 地方債 その他 一般財源	千円	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体 計画
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	・業務委託;委託設計～入札～契約～維持管理・報告～精算～完了～検査 ・光熱水費等の検収	事業費計(A)	人件費	正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B)	千円	99,153	87,987	98,956	97,009	0	
		トータルコスト(A)+(B)			千円	102,128	91,020	102,031	97,009	0	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) 施設の維持管理(業務委託及び業務監理処理施設の電気料、水道料、電話料、保険料の支払い、処理施設の故障対応及び修繕)。 24年度計画(24年度に計画している主な活動) 同上	⑤ 活動指標							
		ア 処理区数	箇所	1	1	1	1		
		イ 処理場	箇所	1	1	1	1		
		ウ 中継ポンプ	箇所	67	67	67	67		
		エ 業務委託契約数	件	1	1	1	1		
		オ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	① 公共下水処理施設 ② 下水道利用者 ③ 家庭排水	ア 処理場・中継ポンプ	箇所	1・67	1・67	1・67	1・67		
上位目的	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	① 適正に維持管理する。 ② 生活環境を改善する。 ③ 汚水を浄化する。	イ 処理能力・接続人口	m <sup>3</sup> /日	5,100 7,706	5,100 7,874	5,100 7,895	5,100 7,900		
		ア 接続率	%	82.4	83.9	84.5	85.0		
		イ BOD除去率	%	97.5	99.3	99.0	99.0		
		ウ							
	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	河川の水質改善を図る。生活環境を改善する	ア 河川の水質(BOD)	mg/l	4.4	2.2	2.9	2.9		
		イ							

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は どう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と 比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関する これまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者 (市民、議会、事業対象者、利害関係者等)から どんな意見や要望が寄せられているか?
特になし。	・汚泥処分先を見直し、処分単価の見直しをし、汚泥処分費の削減につながった。	特になし。

事務事業名	公共下水道汚水施設管理事業	所属部	上下水道部	所属課	下水道課
-------	---------------	-----	-------	-----	------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 施策の意図が衛生的な生活環境の中で暮らすことができるということであり、この事務事業で適正に施設管理を行うことで施策の意図に直結している。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 維持管理には多額な経費を必要とするため、民間では不可能。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 事業採択時の事業計画に基づき計画区域を設定しており、限定・拡充できない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 現時点で放流水質基準を満たしている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 汚水処理は継続的に行わなければならないので、休・廃止できない。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 類似事業はなく、統廃合・連携は不可能。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 施設の管理は現在のままでしかできないので、削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 現在でも最低限の業務時間で業務を行っている。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 処理区域においては、すべての市民が下水道に接続することができるため、公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	整備についてはほぼ完了したが、経年による機械の劣化が問題となっている。順次修繕等しているが、全体的な更新計画を建てる必要がある。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
維持管理費については、全体的に毎年予算が増加していて、市財政に負担となっている。管理業務の見直し、滞納整理や使用料の見直しが必要である。																							